



車×歩行者に多い！「右から左」の事故

「右から左」の事故とは・・・

車と歩行者の交通事故で多く見られるケースで、ドライバーから見て「右から左」に道路を横断する歩行者と衝突する事故形態のことです。

過去5年間（H29～R3）の交通事故の発生状況を分析すると、直進中の車両と横断歩行者との事故420件中、約61%（257件）が「右から左」へ横断中の事故となっています。

なぜ、「右から左」の事故が多いのか？

夜間だと、暗いところから急に現れるように見えるので、歩行者を発見してからブレーキを踏んでも間に合いませんでした。

車内からだ、右側から横断する歩行者の姿が、ピラー（フレーム、柱）と重なってしまい見えづらいです。



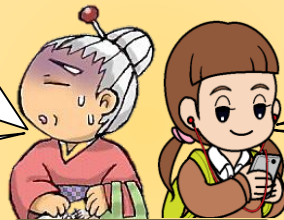
運転者のコメント

交差点を右折した先にある横断歩道では、右折するタイミングをうかがうために対向車両にばかり気をとられてしまい、横断歩道を確認していませんでした。

ミラーに写らない、右側に大きく振り向かないと確認できないなどの理由で「歩行者はいない」と勘違いしてしまったと思います。

車はまだ遠くにいたので横断できると思い横断を始めました。でも、車の速度が思っていたより速く、自分の歩く速度も思っていたり遅かったんです。

左から来る車の存在には気づいていましたが、私に気付いて車が止まってくれると思っていました。



歩行者のコメント

私は横断歩道を渡っているのだから当然、車が止まるだろうと思っていました。

スマホを見ながら歩いていたので、事故になるまで車に気がつきませんでした。

～交通事故防止のために～



◆ ドライバーの方は・・・

- 交差点では特に、周囲の安全確認を徹底しましょう。
- 走行中も前方左右の安全確認を徹底しましょう。
- ハイビームの上手な活用で歩行者等の早期発見に努めましょう。

◆ 歩行者の方は・・・

- 「ながらスマホ」など危険な行為はやめましょう。
- 横断歩道が近くにある場合は、横断歩道を利用し、横断前、横断中の安全確認を確実にいきましょう。
- 高齢者の方は、年齢による身体機能の低下を自覚し十分な安全を確保した横断を心掛けましょう。

ツイッターを運用しています。フォローをお願いします！【石川県警察交通安全情報@IP_koutuu_anzen】



【いぬわし君の交通安全Journal】

◇毎月1日、15日（土・日・祝の場合、翌平日）に新情報を配信します。

◇県警のウェブサイトにも掲載しています。

www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/

【交通安全ほっとストーリー】

投稿フォームはこちら

www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/inquiry/inquiry09/



交通安全♥ビジョン

